

令和6年度 探究学習成果発表会 (分科会)



1月21日(火)、2年生普通科「総合的な探究の時間」における探究学習の成果発表会(分科会)を開催しました。本校における総探の授業では、4つの分野(地域と文化・地域と産業・地域と防災・国際社会と地域)をテーマに探究活動を行っています。今回の発表会では、39班がそれぞれ工夫を凝らしたポスターを用いて発表を行いました。また、大学等から5名の先生方をお招きし、発表内容についてご指導・ご助言をいただきました。生徒たちにとって、2月に行われる全体会に向けてさらに良い発表にしていこうと気持ちを新たにす貴重な機会となりました。



分科会を通じて、、、

アポを取るときや原稿を考えると、役割を分担して取り組めてよかった。発表する時、相手に対してどのように言えば伝わりやすいか、言葉のチョイスを考えることができた。自分たちで人口減少のことを調べたことで、より理解が深まった。発表することで相手が聞き取りやすいように伝える力が身についたと思う。また、行動する計画力も高まり、いい経験だった。

2年1組 中川 沙羅

世間で問題になっていることを班全体で見つけ、その問題解決のために仮説を立てフィールドワークをしたことで、課題に取り組む意欲や積極性や行動力が向上したと思う。他にも、私たちが発表する内容はとても難しく、相手に伝えるときに理解されにくいと、誤解されないようにどのようにすれば自分たちが思っていることを正しく伝えられるかを考えてプレゼンテーションをした。それによって自らの意思や考えを周囲に適切に伝える力、より効果的なプレゼンテーションをする力がついたと思う。

2年4組 辻本 純音

現地の人に自分たちの調べたいことを聞くことで、プレゼン能力が磨かれた気がする。日頃の総探の授業から役割分担ができ、身近な問題でもある和歌山県の文化に関する課題を解決しなければならないという使命感ができた。加えて、これらの解決策に適切な筋道を立てて遂行することができ、素晴らしい発表となった。

2年3組 増田 海聖

去年の夏に南海トラフ臨時情報が発令され、巨大地震への恐怖と警戒が一段と高まりました。その影響もあり、巨大地震時の身の守り方、避難具、避難経路の確認、津波がどれくらいの時間で到達するのか、どの道を通ったら安全に避難所まで行けるのか、学校だけではなく家庭でも考えるようになりました。何度も調べ、イメージしたりシミュレーションを考えたりしました。発表の際は多くの人に巨大地震の恐ろしさや身の構え方をわかってもらいたいと思い、プレゼンを行いました。何かがあった後では遅いので、学校でももっと的確な避難訓練をする必要があると考えます。

2年5組 岡前 心望